

標題 | 松江市和牛改良組合で研修会を開催しました

(ダイジェスト)

12月3日に松江市和牛改良組合員を対象に研修会を開催し、農家18名が参加しました。内容は、普及部から分娩や哺育管理の基礎、家畜衛生部から子牛の下痢対策について講義した後、管内若手農家から分娩や子牛の育成で気を付けていることや工夫していることをパネルディスカッション形式で発表してもらいました。

12月3日（火）に松江市和牛改良組合員に対して研修会を開催し、農家18名と関係機関4名の計22名が参加しました。研修会は二部構成で実施し、第一部では松江普及部から分娩や哺育管理の基礎知識を、家畜衛生部からは昨年度の研修会で問合せの多かった子牛の下痢対策を講義しました。第二部では若手農家の育成と管内農家の飼養管理技術向上のために、若手農家2名に壇上に上がってもらい、分娩前後の親牛の管理方法や哺乳の工夫、大きな子牛に育てるための工夫等をパネルディスカッション形式で発表してもらいました。

本改良組合では初めての試みということもあって、開始直後はパネラーにも司会者の私にも少し緊張がありました。パネラーには自身の飼養管理状況を説明できるよう準備してもらったため、日頃の工夫をわかりやすく伝えられることができました。管内トップレベルの繁殖成績を誇る農家の工夫を聴ける機会とあって、会場からは質問が飛び交いました。また他の農家の参考になるよう、自身の失敗事例を報告する農家も見られました。



終了後には、とても良い研修会だった、改良組合の別の研修会でもお願いしたい等の好意的な反応を多くいただきました。

本取組みによって、パネラーである若手農家が自身の取組みを論理的に話すこと、他の生産者から認められて自信に繋げることが出来たと感じています。

普及部としては、今後も関係機関と連携して若手農家の育成や管内全体の飼養管理技術向上に繋がる研修会を開催していく考えです。